

国語科学習指導案

単元名「『推し』を見つけてスライドセッションをしよう」

教材名「大造じいさんとガン」

令和6年11月 5年1組 指導者 木村智津子

I 単元の構想

1 単元観

本教材は、椋鳩十の代表的な物語作品である。この物語のおもしろさの一つに、登場人物である大造じいさんの、残雪への見方の変化に伴う心情の移り変わりや、ガンの頭領としての残雪の魅力が挙げられる。また、色彩語を取り入れた場面の様子が豊かに想像できる情景描写や、予想外の登場人物の行動描写、大造じいさんの気持ちを表す言葉等も生き生きと、効果的に表現されている。そのため、登場人物たちの心情やその変化に深く迫ることができるのと同時に、狩人としての大造じいさんの生き様や、残雪の鳥らしからぬたたずまいに心動かされ、感情移入したり、行動の理由について深く考えようとすることができる。

上記の通り、本作品は登場人物やそれぞれの場面、あるいは一文ごとに魅力が詰まった作品である。登場人物の人物像や言動に対する解釈、物語全体の魅力について考える「読み」の語りがいがあり、児童の様々な読みの深まりが期待できる作品である。

2 研究との関わり

研究主題を「もっと語りたくなる国語の授業作り—『読むこと』の領域における『問い』の設定と読みの交流を通して—」と設定した。

本単元では、単元全体における言語活動を「『大造じいさんとガン』の『推し』の人物・場面についてスライドセッションをしよう。」とした。追究に当たっては、読みを深めるための「問い」を立てる場面を設けたり、スライドセッションを含めた「語り合い」における自分のめあてを設定させたりすることで、自分で決めた「問い」やめあてに向かって積極的に追究しようとする意識を高めたい。その後、自由なメンバー及び人数で語り合う場面を設定する。このことで、語り合うことへの安心感をもてるようにしたい。その中で、「登場人物の行動の理由や大造じいさんの視点から見た残雪」「大造じいさんの狩人としてのプライド」等に注目したり気付いたりすることを期待するとともに、人物像を様々な表現から捉えることや心情の変化を豊かに想像すること、表現の効果を考えることができるようにしたい。また、全体で語り合う場面として「中間発表会」を行い、現時点での自分なりの読みが正確であるか、登場人物の心情をより考えられているかという視点をもたせることで、複数の叙述を結び付け、正確で質の高い考えを形成できるようにしたい。

単元の終末では、それまでの物語の魅力に迫る学習を生かし、スライドセッションで今までの読みを存分に語らせたい。その際、友達の見解に対して共感したことや納得できたこと、一緒に考えたいこと等を語り合う場面を設けることで、自己有用感や次時の学びへの意欲につなげる。さらに毎授業の終末に、本時で学べたことや考えが広がったこと、深まったこと、新たに気付いたこと等を記録させることで、自身の読みの変容や深まりを可視化するとともに、それらを生かしたスライドセッションにすることで振り返りの重要性を実感できるようにする。このような計画に基づいて本実践を行うことで、児童の「自分の考えが伝わった」「共感してもらえた」「語ることは楽しい」という感覚を喚起し、読みを広げたり深めたりすることに対する意欲及び文学的な文章の「読みの深化」に迫れると考えている。

3 単元の目標及び児童の実態

	目標	児童の実態
知識及び技能	・ 比喩や反復等の表現の工夫に気付くことができる。(1)ク	・ 比喩や反復法が用いられている文章に触れてきたが、自らそれらの表現の工夫や効果に着目できる児童は少ない。

思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 人物像や物語等の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。C(1)エ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。C(1)カ 	<ul style="list-style-type: none"> 読解が表面的で感覚的な読みにとどまっており、複数の叙述を結び付けながら考えを広げたり深めたりすることまで至らない児童がいる。 互いの意見や感想を伝え合う機会を経験しており、そこから新たな気づきを得たり、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス全体で読みを語り合う場面で、自分の思考に自信がある児童は積極的に発言ができるが、自信がない児童は発言に躊躇してしまう。

4 評価規準

知識・技能	①比喩や反復等の表現の工夫に気付いている。
思考・判断・表現	①人物像や物語等の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ②文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
主体的に学習に取り組む態度	①積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画(全10時間：本時9時)

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目〈方法(観点)〉 ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1 2 3	■学習方法や言語活動のゴールを知り、単元全体の見通しをもてるようにする。 □学習カードに「語り合い」における個人のめあてを考え、記入する。 □本文を読み、「いいなと思った場面や登場人物の言動」「大造じいさんの言動で確かめたいこと・分かりたいこと」という観点で感想を書く。 ★スライド資料の提示		①	①	◆「『推しの人物』『推しの場面または表現』を紹介する」という単元の課題を捉え、見通しをもっている。 <学習カード(態)> ◆観点に沿って本文を読み、人物像や物語の全体像に関する感想を書いている。 <観察・ノート(思①)>
[単元の学習課題] 「推しの人物」「推しの場面または表現」というテーマでスライドセッションを行い、6年生に自分たちの「読み」を語ろう。						
追究する	4	■1～2の場面における、大造じいさんの人物像や残雪への心情の変化に気付けるようにする。 □大造じいさんと残雪の履歴書を作成し、人物像を捉える。 □残雪を捕らえるための1年目の作戦と2年目の作戦での大造じいさんの反応の違いから残雪への心情の変化を考える。	①			◆「会話文」「心内語」「行動描写」「情景描写」「比喩」「反復表現」等に注目し、「大造じいさんの「残雪」に対する心情の変化を記述している。 <観察・ワークシート(知)>

	5	<p>■ 3～4の場面における追究したい「問い」を考え、「語り合い」に意欲的に臨めるようにする。</p> <p>□ 確かめたい・分かりたい表現の中から、読みの深化に迫れる「問い」を決定する。</p> <p>□ 「語り合い」のグルーピングをする。</p> <p>★スライド資料の提示</p>		①	<p>◆ 表現の工夫に着目しながら、読みの深化に迫れる「問い」を考えている。</p> <p>＜観察・ノート（態）＞</p>
	6	<p>■ 自分たちで立てた「問い」をもとに、大造じいさんの残雪への心情の変化に気付けるようにする。（3～4の場面）</p> <p>□ 「語り合い」のグループごとに、選択した問いについての意見を交流する。</p> <p>★スライドでの交流</p>		①	<p>◆ 自分で考えたことを多くの人に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、自分の考えに取り入れたり、考えを広げたりしようとしている。</p> <p>＜観察・ワークシート（態）＞</p>
	7	<p>■ 物語全体の核となる「問い」について、全体での中間発表会で報告することで、読みの広がりや深まり、新たな「問い」を見いだせるようにする。</p> <p>□ 自分たちで読み取ってきたことを全体の場で共有し、お互いの読みを語り合う。</p>		①	<p>◆ 中間報告会での交流を通して友達の考えを取り入れたり、自分の考えを広げたりしようとしている。</p> <p>＜観察・ワークシート（態）＞</p>
	8	<p>■ 「推しの人物」「推しの場面または表現」を決定し、おすすめの理由をスライドにまとめられるようにする。</p> <p>□ 蓄積してきたスライドやワークシートをもとにスライドを完成させる。</p> <p>★スライド資料の作成</p>		②	<p>◆ 今までの「語り合い」を踏まえて自分の考えを広げたり深めたりしながらまとめている。</p> <p>＜観察・スライド（思②）＞</p>
ま と め る	9 （ 本 時 ）	<p>■ クラス内でスライドセッションを行い、今までの読みを語り合うことで、多様な考えに触れ、登場人物の心情理解を広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>□ スライドセッションをしながら「推しの人物」「推しの場面または表現」について発表し合い、感想や質問を伝えたり、質問に答えたりする。</p> <p>★スライドでの交流</p>		①	<p>◆ 積極的に意見や感想を共有し、自分の考えに取り入れたり、考えを広げたりしようとしている。</p> <p>＜観察・スライド（態）＞</p>
	<p>〔本時のめあて・課題等〕</p> <p>スライドセッションを通して、本文を根拠にしながら登場人物の心情理解を広げたり深めたりしよう。</p>				
	10	<p>■ 6年生に向けてスライドセッションを行い、今までの読みを語り合うことで、多様な考えに触れ、登場人物の心情理解を広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>□ スライドセッションをしながら「推しの人物」「推しの場面または表現」について発表し合い、感想や質問を伝えたり、質問に答えたりして語り合う。</p> <p>★スライドでの交流</p>		②	<p>◆ 根拠を基に複数の視点から解釈した登場人物の心情を語っている。</p> <p>＜観察・スライド（思②）＞</p>

II 第9時の学習

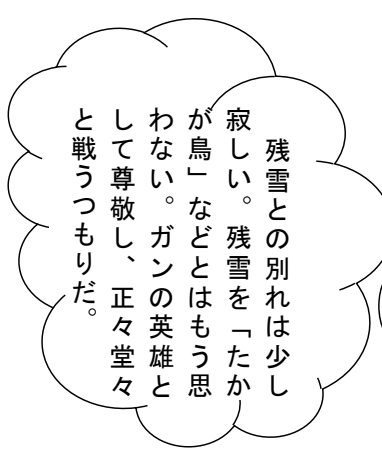
1 ねらい クラス内でスライドセッションを行い、今までの読みを語り合うことで、多様な考えに触れ、登場人物の心情理解を広げたり深めたりする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p>1 本時のめあてを知り、「スライドセッション」の進め方を確認する(★) (導入5分)</p> <p>S: スライドセッションで推しについて考えたことを自信をもって発言したいな。</p> <p>S: 質問したいことがあったら、積極的に聞いてみよう。</p> <p>S: 今までの読み取りを生かして質問にもどんどん答えたいな。</p> <div data-bbox="180 741 866 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くめあて) スライドセッションを通して、本文を根拠にしながら登場人物の心情理解を広げたり深めたりしよう。</p> </div>	<p>○本時のめあてを意識できるように、今日の流れを提示する。</p> <p>○スライドセッションを円滑に進められるよう、タイムスケジュールを知らせる。</p> <p>○スライドセッションでの伝え方を全体で共有できるよう、登場人物や場面の「推しの理由」を叙述を根拠にしながら発表するよう伝える。</p>
<p>2 同じ「推し」、違う「推し」同士でスライドセッションを行う(★)。 (展開①15分)</p> <p>S: 【大造じいさん】 残雪を撃つ最大のチャンスがあったのにもかかわらず、残雪の行動を尊重して、撃ち取らなかったところに懐の深さを感じる。</p> <p>S: 【残雪】 仲間のガンを救うために、ハヤブサにも大造じいさんによっても命を落とされる危険を顧みずに行動している。</p> <p>S: 【表現】 「青くすんだ空」からは、大造じいさんの計略が上手くいき、「今度こそ残雪との対決に勝てるぞ」という強い期待が感じられておもしろい。「真っ赤に燃えて」という朝の空の情景描写が、3年越しの戦いへの大造じいさんの並々ならぬ気迫が感じられる。</p>	<p>◎意見の広がりや深まりが生まれるよう、気付きや質疑応答等を自由に「語り合う」場面を設ける。</p> <p>○積極的に意見や感想を共有し、自分の考えに取り入れたり、考えを広げたりするために、意見を付箋紙に書いたものを贈り合うよう指示する。</p> <p>○意見の共通点や相違点に気付けるよう、聞き手は「共感したこと」「新しい発見」を付箋紙に書き、よりくわしく知りたいことは直接質問をするように伝える。質問された発表者は、叙述を根拠に自分の考えを口頭で説明するように伝える。</p> <div data-bbox="911 1491 1410 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目 積極的に意見や感想を共有し、自分の考えに取り入れたり、考えを広げたりしようとしている。 <観察・スライド(態)></p> </div>
<p>3 クラス全体で、教師の「推しの表現(情景描写)」について語り合う(★)。 (展開②20分)</p> <div data-bbox="180 1787 866 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情景描写の例 「らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。」</p> </div> <p>S: スモモの花が「らんまんと」と表現されている。大造じいさんの「これから頑張るぞ。」という気持ちが分かるな。</p>	<p>◎終末の場面での登場人物の心情の変化を読み取れるように、情景描写の効果を全体で語り合う場面を設ける。</p> <p>○提示された文や単語からだけではなく、他の叙述と関連させながら大造じいさんの心情を想像できるよう、他の場面の似た表現や大造じいさんの心情の変化に着目するよう促す。</p>

<p>S：スモモの花が「清らかに」と表現されているので、敵であった残雪を助け、来年も正々堂々と戦おうとしている大造じいさんの気持ちが表れているのかもしれないね。</p> <p>S：スモモの花が「はらはらと」と表現されている。「涙をはらはら流す」という表現があるので、大造じいさんは残雪との別れに寂しさを感じているのではないかな。最後の文に「いつまでも、いつまでも見守っていました。」とも書いてあるよ。</p> <p>S：1の場面では「いまいまして」「たかが鳥」などと思っていたのが、5の場面では「堂々と戦おう」と言っているのだから、「たかが鳥」とは思っていない。仲間を守るために自分の命を省みずに戦い、頭領として堂々と振る舞った残雪に尊敬の気持ちがあったからこそ、介抱したのだと思う。</p>	<p>○大造じいさんの「残雪」への見方の変化に気付けるよう、1の場面と5の場面における大造じいさんの心情の変化を問いかける。</p>
<p>4 「スライドセッション」を振り返り、感想を学習カードに記入する。(終末5分)</p> <p>S：今までの語り合いによる読みが生かされた。</p> <p>S：セッションで質問するという自分のめあてを達成できた。</p> <p>S：大造じいさんが銃を下ろしたのは「仲間を必死で救おうとしている残雪」に対して心を打たれ、「ひきょうなやり方で残雪を撃ち取ることはできない。」という心情があったという考えに共感してもらえた。</p> <p>S：最後の場面の情景描写から、大造じいさんは、残雪との別れを少し寂しく感じている。それは、残雪への見方が「いまいましい」から「ガンの英雄」へと変化したからこそだとわかった。</p> <p>S：6年生に私の「推し」とその理由が伝わるような発表にしたいな。</p>	<p>○次時の学習への意欲をもてるよう、本時の「語り合い」の成果を称賛するとともに、次回は6年生に向けたスライドセッションを行うことを伝える。</p>

3 板書計画



挿絵

◎先生の「推し」の表現
情景描写（p244・L6）

「らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。」

めあて

スライドセッションを通して、本文を根拠にしながら登場人物の心情理解を広げたり深めたりしよう。

TV画面で、本時の流れや課題を掲示

大造じいさんとガン